

地域コミュニティ づくりの

リアルな現場を学ぶ

スタディツアー

A SOCIAL TOUR  
TO LEARN ABOUT REAL SITES  
IN THE LOCAL COMMUNITY



若年層を対象としたワークショップ

広島市企画総務局 コミュニティ再生課

# 1 事業概要

## 目的

若い世代を対象としたワークショップを開催し、様々なプログラムを通じて、若い世代の価値観や地域に対する意識を把握するとともに、参加者が地域のことを考えるきっかけとすることで、参加者の郷土愛の醸成を図り、将来の地域活動の担い手確保につなげる。

## 実施内容

### 「地域コミュニティづくりのリアルな現場を学ぶスタディツアー2024」

若い世代が実際に地域等へ出向き、地域活動実践者や新たな担い手候補者と交流することで地域等の現状を知るとともに、その中で感じたことや気付きを参加者で共有し、これから地域コミュニティとの関わり方(できそうなこと、やってみたいこと)を話し合う。

(1) 期間 令和6年10月～令和6年12月(計5回)

(2) 参加者 約25名

(広島市内に在住か通勤・通学している18歳からおおむね40歳までの方)

※大学生、子育て世代の社会人、行政職員等

## 2 ワークショップ

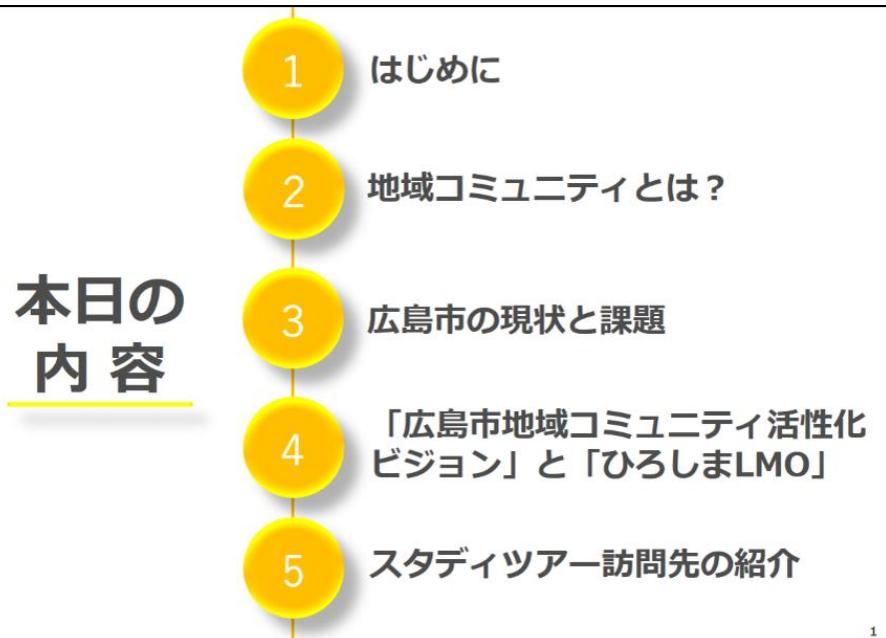
### (1) Input 「地域コミュニティづくり入門」

広島市の取組(町内会・自治会等実態調査結果、広島市地域コミュニティ活性化ビジョン、ひろしまLMO)について学習した上で、第2回以降の現地視察先の事前情報や地域への聞き取りのポイント等を把握した。

・日時 令和6年10月18日(金)19:00～20:30

・場所 port.cloud(ポートクラウド)

(広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル9階)



## 2 ワークショップ

### (2) 「スタディツアー①②③ ~地域コミュニティの現場を巡ろう！~」

各種地域団体等の地域活動実践者や新たな担い手候補者から活動内容や課題等について話を聞くとともに、実際に活動へ参加することを通じて、地域の現状を知るために、以下の地域等を視察した。

#### 【視察先】

①福田まちづくり協議会(ふくだLMO)(福田地区)

・日時 令和6年10月26日(土) 13:30~16:00

②戸山学区社会福祉協議会、戸山学区町内会連合会、やませみ舎(戸山学区)

・日時 令和6年11月24日(日) 13:00~15:30

③古市地区をはぐくむ会(LMO)、株式会社 八紘(古市学区)

・日時 令和6年12月8日(日) 13:00~15:30

#### 【内容】

・活動実践者から取組紹介・対話、新たな担い手候補者との対話

・活動現場視察、まち歩き

・参加者の振り返り、学びの整理・共有

## 2 ワークショップ

### ①福田まちづくり協議会

#### 視察先について



○福田まちづくり協議会は、「この指とまれ みんなでつくる ささえあいのまち」をキャッチフレーズに福田地区の各種地域団体や、まちづくりグループ、各種事業所、教育機関、社会福祉法人などが手を携え、福田地区のまちづくりを進めている。※令和6年7月3日認定

○OLMOへの理解と関心を促すこと、地区住民のふれあいの場を提供すること、次代を担うリーダーを発掘することを目的として、令和6年8月に「第1回ふくだまつり」を開催した。

## 2 ワークショップ

### 参加者の感想

- 地域コミュニティに参加するからには色々とやらないといけないという意識があったが、「まずはできることから行えばいい」という話を聞いて、参加のハードルが下がったように思う。
- 「この指とまれ」で、無理強いしない。「できる時に、できる人が、できることをする」という考え方で、参加しやすくなっている。若い人や企業の参加も、得意なことだけで良いなら、協力が得られやすくなるかもしれない。
- 地域で積み上げられてきた資源を今いる人たちが上手く引き継いで、地域のために活用することが地域コミュニティにとって必須の要素だと改めて学ぶことができた。



## 2 ワークショップ

### ②戸山学区社会福祉協議会、 戸山学区町内会連合会、 やませみ舎



#### 視察先について

- 戸山学区では、令和6年6・7月に地域課題の解決に向けた話し合い等を行うワークショップを3回開催し、ひろしまLMOの設立に向けて準備を進めている。※令和6年12月26日認定
- 「やませみ舎」は、戸山学区の地域活性・定住促進をテーマに活動する30～40代の団体で、戸山学区への移住を希望する方には、空き家や空き地の情報を紹介しており、これまでに26組100人の移住をサポートしてきた。

## 2 ワークショップ

### 参加者の感想

- 戸山学区の雰囲気がとてもよく、高齢な方が若い世代と一緒に進む姿が良かった。考え方の真ん中に子どもというキーワードがあり、そこから展開していく取り組みはこれからも発展していくと感じた。
- 若者世帯同士が交流を通して地域で暮らす意義を共有していることと、その若者世帯と昔ながらの地域の人を地区社協の会長がうまくつないで後押しされていることも、若者世帯の活動がしやすくなっていることにつながっているように感じた。



## 2 ワークショップ

### ③古市地区をはぐくむ会、 株式会社 八紘



#### 視察先について

- 古市地区をはぐくむ会は、「あなたとつくる、みんなでつくる、支えあいのまち」をモットーに、安佐南区で一番住みよい町を目指して活動している。※令和6年5月24日認定ひろしま型地域貢献企業に認定されている「株式会社 八紘」協力の元、今年度も地域のこどもたちと一緒に公園のベンチや遊具を塗替えるイベントを実施した。
- その他にも、おやじの会と子ども会が協力して「アユのつかみ取り」や「ゴザ走り・水鉄砲大会」を開催する等、こどもたちが喜ぶイベントが多数ある。

## 2 ワークショップ

### 参加者の感想

- 企業はもとより、それぞれの得意が集まることがその地域の特色となると感じた。  
得意=資源ですね。
- 企業や市などの外部に力を借りることも地域活性化において重要であること。
- 一人でやるのではなく、周りの仲間や行政なども巻き込んでつながりを作つてから取り組むことが、負担の分散やモチベーション、次の担い手を考える上でも取組を継続するために必要なことだと感じた。最後は自分も楽しくすることも周りを巻き込む上で重要だと感じた。



## 2 ワークショップ

### (3)Output 「これからの地域コミュニティとの関わり方を考えるワークショップ」

第2回～第4回のスタディツアーを踏まえ、感じたことや気づきを参加者で共有し、これからの地域コミュニティとの関わり方について話し合った。

・日時 令和6年12月21日(土) 10:00～12:00

・場所 port.cloud(ポートクラウド)

(広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル9階)

#### 【内容】

・スタディツアーの振り返り

・「実際にやってみて、地域のリアルはどうだった？」をテーマにグループワーク

・「若い世代がどうしたら地域活動に関われる？関わりたくなる？」をテーマに各人発表



## 2 ワークショップ

### 参加者の感想

#### (地域、コミュニティ、町内会などに対する考え方や意識で、変化したこと)

- どこの地域も高齢の方が中心となって運営などをされているのかと勝手に思っていたが、福田も戸山も古市も若い方がさまざまな行動を起こし、それにいろんな年代の方々が協力してくれて、地域として活性化しているのだとと思った。
- 地域課題の解決には、特定の人だけが担うのではなく、多様な立場の人々が協力して取り組む必要性を感じ、今後の自分の役割を考えるきっかけになった。
- 企業の地域活動への参加について、可能性があるように思った。企業には、生産年齢の従業員がいて、時間の使い方の工夫など地域活動に携わるしくみが整えば、企業にも従業員にもメリットがあると思った。
- 実際に地域活動を行っている方はなぜやっているのかという問い合わせに対して、言語化することが難しいことが多くあった。ただ、この言語化できない部分が活動をする根幹にもなっていると感じ、この思いの部分も広く伝えていくことも大切だと感じた。一つの解としては相互の感謝の気持ちであり、やって当たり前になると続かなくなってしまうものだとも感じた。

### 3 まとめ

- 今年度のワークショップにおいても、地域コミュニティに関わりたいと思っている若い世代は確実に存在していることが分かった。
- 若い世代が地域コミュニティに関わるためのきっかけづくりも大切であるが、新たな担い手を育て、地域コミュニティを持続させるためには、先輩世代や地域の方々が若い世代を応援・協力してくれる地域の環境づくりも重要である。
- 地域コミュニティの運営においては、地域住民だけでなく、必要に応じて企業や行政等の力を借りることも視野に入れることで、負担軽減や地域活性化に繋がることもある。
- 地域活動において、各自が「得意なこと(できること)で関わる」という認識を持つことで、参加のハードルを下げるができるのではないか。また、企業も得意分野で地域に貢献できるため、地域－企業間の関係も築きやすくなるのではないか。
- 地域活動の担い手へ感謝の気持ちを伝えることも大切。イベントの企画や運営など、やってもらって当たり前という姿勢では、いつか続かなくなってしまう可能性がある。感謝を伝えることで担い手のやりがいにつながり、地域全体の雰囲気も良くなる。